

# 俳句

## 砥部句会

柏餅の作り立てまづ供へけり 大西 一教  
 天辺は葉桜の風師弟句碑 篠崎 伶子  
 飛び石をとんとん庫裏へ柿若葉 長曾我部弓子  
 ふくふくと膨らみ切つて葱坊主 中岡セツコ  
 遅しき母の腕や菖蒲の湯 長戸ふじ子  
 口癖は元気が宝更衣 廣末 榮子  
 懐しき昭和の香る春シヨール 福岡いつ子  
 柿若葉はるか彼方に城山城 福岡 繁平  
 楼門の大草鞋履く雨蛙 松林 静子  
 検診を終へて目に沁む柿若葉 宮田 弘道  
 樟若葉古墳の丘の傘となり 向井 章子  
 終着の下車一人つきり花空木 向井 初子  
 句帳手に歩も軽やかに柿若葉 森 安子



## 消費者力アップ通信

電力契約の訪問販売トラブルに注意！

### 相談事例

賃貸マンションに入居してまもなく、訪問してきた男性に「マンション全体で契約する電気会社が当社に変わる」と言われた。紙に氏名、電話番号、生年月日を書かされ、検針票を見せてしまったが、勝手に契約先を変えられないか心配だ。

### アドバイス

◆アパートの管理会社や大家さんに連絡して、事実確認をしましょう。  
 ◆検針票には、切り替えに必要な顧客番号や供給地点特定番号が記載されているので、取り扱いには注意しましょう。  
 ◆訪問販売で契約した場合、クーリング・オフができます。  
 ◆不安になった場合やトラブルになった場合は、相談窓口にご相談しましょう。

受付時間 8時30分～17時15分

相談窓口(商工観光課内) ☎(962)2367

消費者ホットライン ☎188

## むかしの道具

### ラジオ

電波を利用して音声などで情報を伝達する放送、またその受信機のことです。ラジオ放送は海外での実用化が先に進んでおり、日本では1925(大正14)年に始まりました。その2年前の関東大震災で情報が伝わらず混乱したことから、ラジオ放送の実現が急がれたと言われます。

受信機は、初め鉱石ラジオというレシーバーを使い1人で聴くタイプのものでした。その後、多くの人が一緒に聴ける真空管ラジオ(写真)が登場します。昭和初期ごろには一般家庭でも広く使われるようになり、新しいトランジスタラジオやテレビが広まる前までは、真空管ラジオが情報を知る手段として主流でした。

現在では携帯端末などでも放送を聴けるインターネットラジオが登場するなど、多様化が進んでいます。



砥部むかしのくらし館所蔵

☎(962)59952

俳句他